対比

練習1　問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

この前、教師の人と話していて、子供がTVゲームばかりして、友達同士遊ばないから困っているとぼやいていました。

TVゲームに対するもっとも一般的な批判です。僕はいつも、この批判を聞くと、それは正しいのだけれど、だけど、先生、あなた方だって、カラオケで盛り上がるでしょう、つまり、ゆっくり酒でも飲みはじめたら、誰のどんな批判が飛び出すか分からないから、その空間を避けるでしょう、もちろん、僕もそうですよ、スタッフや役者同士が酔っぱらって何を言いだすか分からない時は、カラオケに走るのがもっとも安全な方法ですから、と心の中で思ってしまうのです。

そして、子供は、そういう大人の生活の知恵を敏感に知っていて、友達の家に遊びに行って、何を話そうかと緊張する瞬間、ある者はTVゲームのスイッチを入れ、ある者は『スラムダンク』のコミックを手に取るのですよ、と思ってしまうのです。

（鴻上尚史『真実の言葉はいつも短い』光文社）

問い　この文章の内容として最も適切なものはどれか。

1　子供がTVゲームをするのは、まだ子供たちだけでカラオケに行けないからだ。

2　子供がTVゲームをするのは緊張を避けるためで、大人がカラオケに行くのと同じだ。

3　子供がTVゲームをすることを批判するなら、大人もカラオケに行くべきではない。

4　子供がTVゲームをするのは、カラオケほど他人から批判されず、安全だからだ。

LIVEWORKSHEETS

練習２　問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

現在、学校の部活動や地域の少年スポーツチーム、クラブには、参加の意志さえあれば誰でも参加できるようになっています。それでいて、万が一事故が起こった場合は、現場にいる指導者や、施設管理者だけに責任があるかのように思われています。一般に、一つの部やクラブ、チームの部員数が30～40人くらいになることは、それほど珍しいことではありません。しかし、それだけの大人数の安全や健康状態を完璧に(注1)観察し、適切な判断をたったひとり、もしくは数人の指導者でおこなうことは不可能に近いことです。

（佐保豊『日本のスポーツはあぶない』小学館）

(注1)完璧に：欠点が全くなく、完全に

問い この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

1　指導者は、指導中の事故にもっと責任を持つ必要がある。

2　部員は、指導者に自分の健康状態を報告する義務がある。

3　自分の意志で参加しているので、事故の責任は部員本人にある。

4　少人数の指導者や管理者で数十人の部員の安全を守ることはできない。

練習３　問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

人の嫌がる仕事を進んで引き受けたり、お年寄りやハンディキャップをもつ人を的確にお世話するボランティアの姿を見ていると、「すごい。自分にはできない」と感じてしまう人は多いかもしれません。

でも、こうした行動や態度は活動をしていくなかで徐々に身についていくものです。ボランティアをしているのは特別、正義感が強いやさしい人ばかりというわけではありません。

ボランティアを始めた動機に「おもしろそうだから、興味があったから」と、好奇心や探求心をあげる人はたくさんいます。責任をもって活動できるなら、きっかけは何でもいいのです。むしろ、「よいことをする！」という気負いがない分、自然体でボランティアに関われる人も多いのです。

（大勝文仁、山田由佳『自分スタイルのボランティアを見つける本』山と溪谷社）

LIVEWORKSHEETS

問い この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

1　特別な人でなくても、責任感さえあれば、誰でもボランティア活動はできる。

2　お年寄りやハンディキャップをもつ人を的確に世話できる人は、ボランティア活動に向いている。

3　正義感や責任感はなくても、もっと気軽にボランティア活動に参加してほしい。

4　「よいことをする！」という気持ちが強くなければ、ボランティアはできない。

練習４　問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

近代以前の社会では、職業はおのずと定められていることが多く、選択の幅はきわめて小さかった。さらに、生まれて死ぬまで同じコミュニティ(注1)のなかで暮らす人が多かった。

それに対して近代社会では、人びとは自由に職業を選択できる。また国内ならば自由に移動することもできるし、自由に起業したり、趣味やボランティアのサークルをつくって活動することもできる。

つまり、近代社会では一人ひとりの「自由」という理念が大切にされ、さまざまな自由な活動が保証されている。そしてそれに対応して、社会の側も、不特定多数の人びとやモノや情報がさまざまに行き交う(注2)空間となっているのである。

（苅谷剛彦、西研『考えあう技術――教育と社会を哲学する』筑摩書房）

(注1)コミュニティ：地域社会

(注2)行き交う：行ったり来たりする

問い この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

1　近代以前、人はずっと移動せずに暮らしてきたが、近代以降は移動の自由を得た。

2　近代社会では個人の自由が重視され、職業選択や移動等の活動も自由になった。

3　近代以前は自由がなかったため、近代社会の人びとはそれを非常に大切に考えている。

4　近代社会になって自由が保証されたが、人も情報も多すぎて社会が不安定になった。

LIVEWORKSHEETS